

就農に向けた みちすじ ～畜産分野の心構え～



畜産とは？

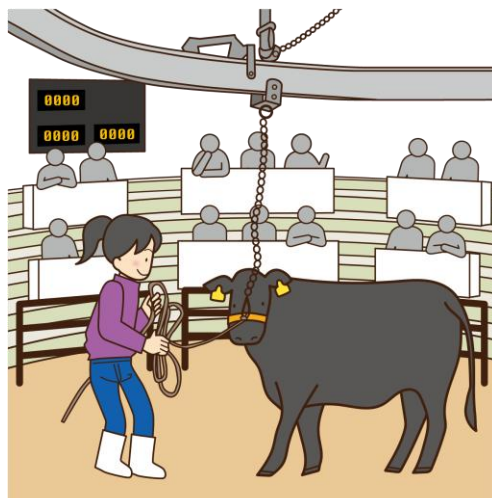
- ・ 家畜を飼養して、肉や乳、卵などを生産する産業

畜産の魅力は？

- ・ 生産過程では、家畜から癒しをもらえる
- ・ 愛情をかけた家畜から収入を得る
- ・ 人が食用利用できない草や未利用資源による食料の生産など



© 2020 Japan Dairy Council



© 2020 Japan Dairy Council



© 2020 Japan Dairy Council

様々な畜種

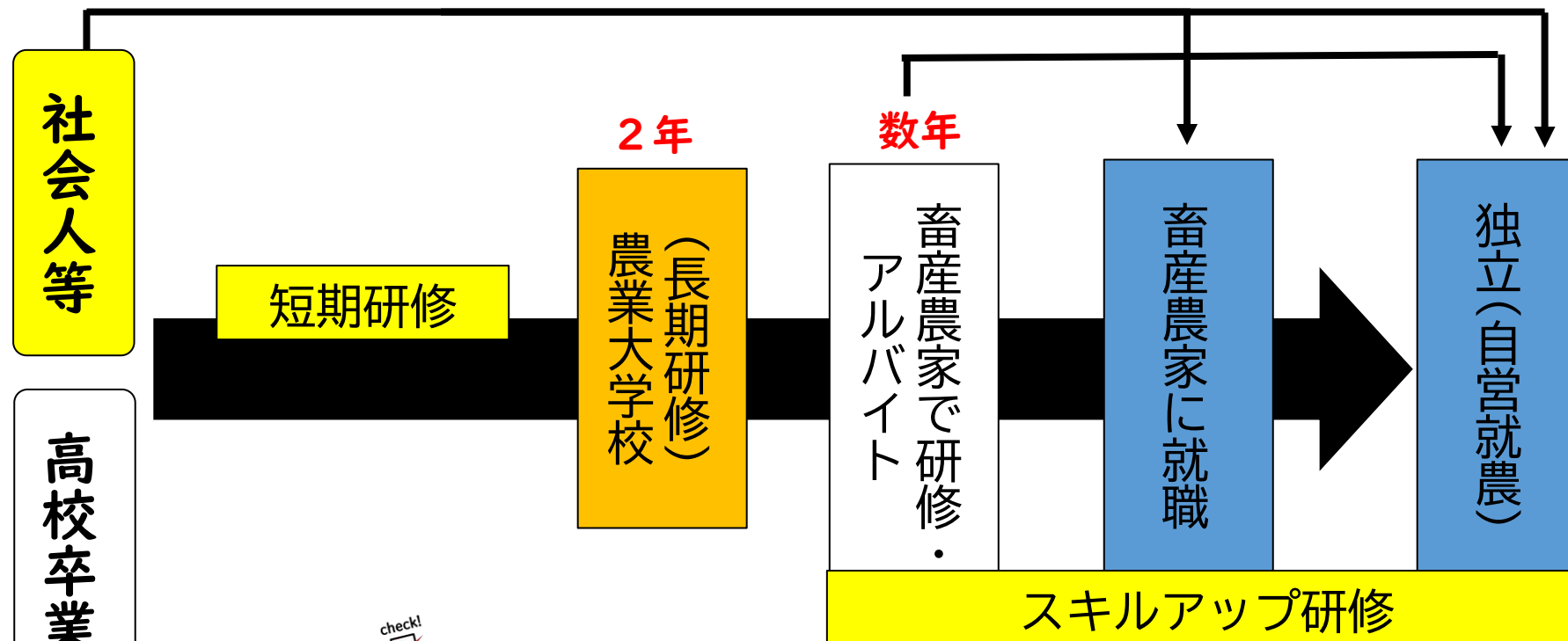
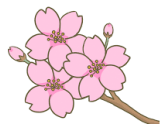
肉用牛	酪農	養豚	養鶏		その他
			肉用鶏	採卵鶏	
					 養蜂  養蚕 など
▼	▼	▼	▼	▼	▼
牛肉	牛乳	豚肉	鶏肉	卵	ハチミツ 絹糸 など

※上記以外の家畜の種類
・馬、めん羊、山羊、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

山口県における就農に関する主な研修等

ステージ	イベント・研修名
1. 就農相談	・ 短期入門研修 ・ 新規就業ガイダンス ・ 就農現地見学会
2. 就農体験 (適正確認)	・ 短期入門研修（再掲） ・ 作目基礎研修 ・ 農業体験
3. 就農前研修 (知識・技能向上)	・ 作目基礎研修（再掲） ・ 担い手養成研修 ・ 実践研修受入農家における研修
4. 就農後	・ 経営スキルアップ研修

山口県畜産における就農までの主な流れ



© 2020 Japan Dairy Council



実践技術研修受入農家(経営別)



略 農	市 町	飼養規模	受入時期	定員	宿泊	農林水産事務所
1 (有) 船方総合農場	山口市阿東	90頭	4～11月	1名	要相談	山口
2 (有) 佐々木牧場	下関市豊北町	250頭	周年	1名	不可	下関
3 岸田農場	下関市豊北町	120頭	周年	1名	不可	下関



肉用牛 繁殖経営	市 町	飼養規模 (繁殖牛)	受入時期	定員	宿泊	農林水産事務所
4 ふるさと牧場	防府市久兼	13頭	周年	2～5名	可	山口
5 (有) 豊田あぐりサービス	下関市豊田町	50頭	12～9月	1名	不可	下関
6 矢儀牧場	下関市豊浦町	40頭	周年	1名	不可	下関
7 宮川牧場	下関市豊北町	60頭	周年	1名	不可	下関
8 長屋牧場	萩市山田	50頭	周年	2名	要相談	萩



肉用牛 肥育経営	市 町	飼養規模 (肥育牛)	受入時期	定員	宿泊	農林水産事務所
1 (有) 船方総合農場	山口市阿東	60頭	4～11月	1名	要相談	山口
9 (有) 萩見蘭牧場	萩市山田	300頭	周年	3名	不可	萩

◇ 肉用牛農家の経営

繁殖経営：母牛を飼い、子牛を産ませて子牛市場に出荷

肥育経営：子牛市場で子牛を購入し、肥育して食肉センター等に出荷

一貫経営：母牛を飼い、産ませた子牛を肥育して食肉センター等に出荷

◇ 研修の内容

畜産農家と一緒に、エサやり、牧草の収穫・調製などの作業を体験



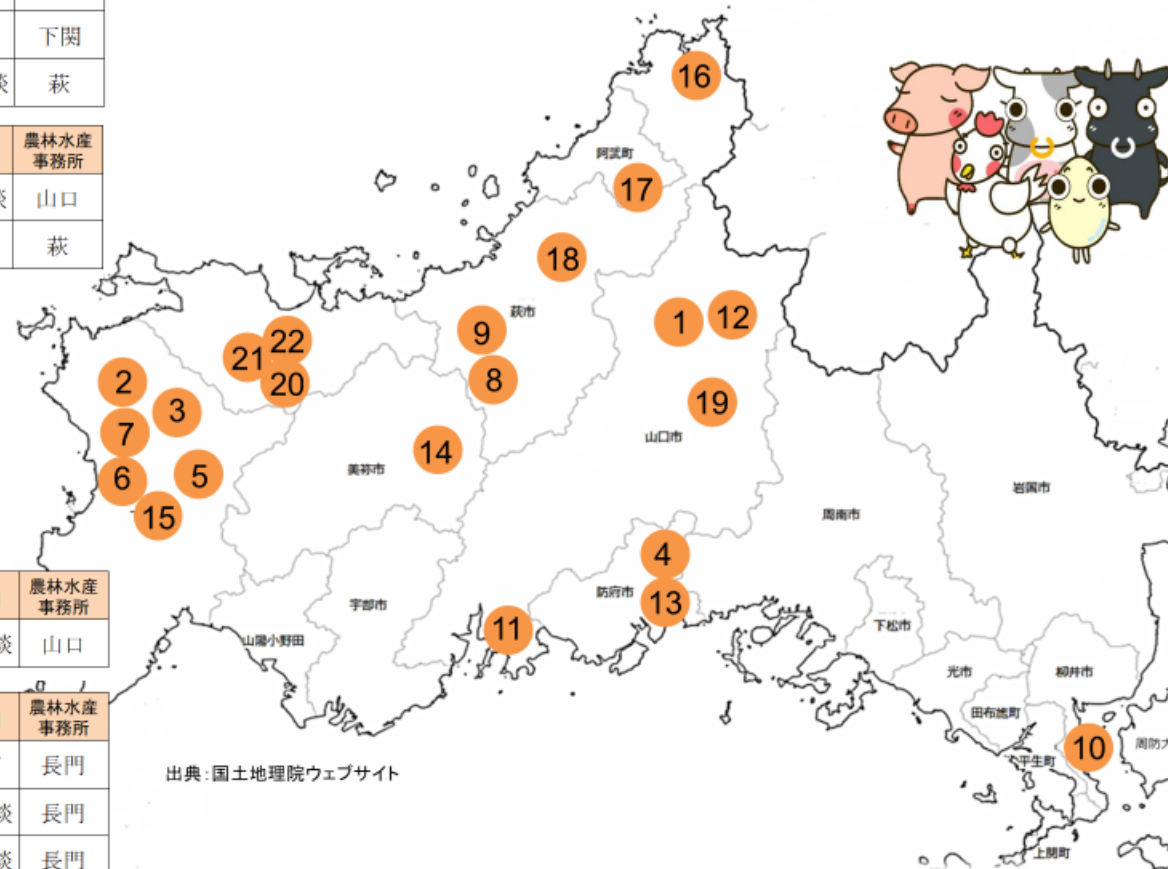
採卵鶏	市 町	飼養規模	受入時期	定員	宿泊	農林水産事務所
19 (株) 出雲ファーム	山口市徳地	580千羽	5～10月	2～3名	要相談	山口



肉用鶏	市 町	飼養規模	受入時期	定員	宿泊	農林水産事務所
20 (有) ふかわファーム	長門市東深川	328千羽	周年	1名	不可	長門
21 (有) 長門アグリリスト	長門市西深川	112千羽	周年	1名	要相談	長門
22 こっこ(株)	長門市西深川	175千羽	周年	2名	要相談	長門



肉用牛 一貫経営	市 町	飼養規模 (繁殖・肥育牛)	受入時期	定員	宿泊	農林水産事務所
10 さいとう牧場(株)	柳井市伊保庄	100頭	4～11月	3名	要相談	柳井
11 (農) 杵崎の里	山口市秋穂二島	20頭	周年	2名	要相談	山口
12 あとう和牛振興センター	山口市阿東	240頭	冬季以外	1名	要相談	山口
13 熊野牧場	防府市牟礼	120頭	4～12月	1名	不可	山口
14 (有) 秋吉台肉牛ファーム	美祢市美東町	730頭	1～4月 9～11月	1名	不可	山口
15 松本畜産	下関市菊川町	50頭	周年	1名	不可	下関
16 (同) 岩本畜産	萩市中小川	150頭	周年	1名	不可	萩
17 無角和種繁殖センター	阿武町福田	120頭	4～11月	1名	要相談	萩
18 (農) 長沢台生産組合	萩市紫福	280頭	周年	要相談	要相談	萩



出典：国土地理院ウェブサイト

※研修の受入時期や研修期間は、事前に受入農家と打合せをして決めますので、まずは、最寄りの県農林(水産)事務所畜産部又は県畜産振興課へご相談ください。

畜産作業者に求められるポイント

- ・ 家畜を飼養する者は家畜伝染病予防法に基づき、衛生管理の遵守が必要
⇒ 作業実施前後の消毒や衣服等の交換など衛生管理の遵守
ex:鳥インフルエンザ、ランピースキン病 etc
- ・ 家畜の突発的な行動からの自己防衛や家畜疾病の早期処置※の観点から、家畜のサイン（攻撃サイン・健康悪化の兆候・異常など）を見逃さないことが必要 ※経営収支にも関与
- ・ 飼養規模が大きい経営では、作業の機械化・自動化がされているため、オペレータ的な技術やトラブル時の対応が必要

家畜の管理者に求められるポイント

- ・ 家畜の健康状態や飼養環境が家畜にとって快適か把握するため、毎日記録をつけることが重要
- ・ 記録する項目として、家畜の健康状態、疾病及び事故の発生の有無並びにその原因、個体ごとの繁殖記録、飼料の給与量又は摂取量、水が適切に給与されているか、最高及び最低温度、湿度等
- ・ 牛の健康悪化の兆候として、姿勢の変化、被毛の状態の変化、目やに、鼻水、下痢、食欲不振、倦怠状態、反芻の消失、速く不規則な呼吸、持続的な咳や喘ぎ、震え、跛行、異常行動等

《参考》肉用牛の飼養管理におけるアニマルウェルフェア

伝染病を疑う事例を確認した場合

家畜共済獣医師や家畜保健衛生所に直ちに通報！

近年の畜産就農事例

- ①酪農ヘルパーを経て自営就農（酪農）
- ②集約した地域の耕作放棄地等を放牧利用した法人設立（繁殖経営）
- ③農業法人が肉用牛部門を新設し経営を多角化（一貫経営）
- ④養豚法人へ就業（養豚）
- ⑤養鶏法人に就業した後に独立（肉用鶏）



主要制度資金の一覧

<金利は令和8年7月21日時点>

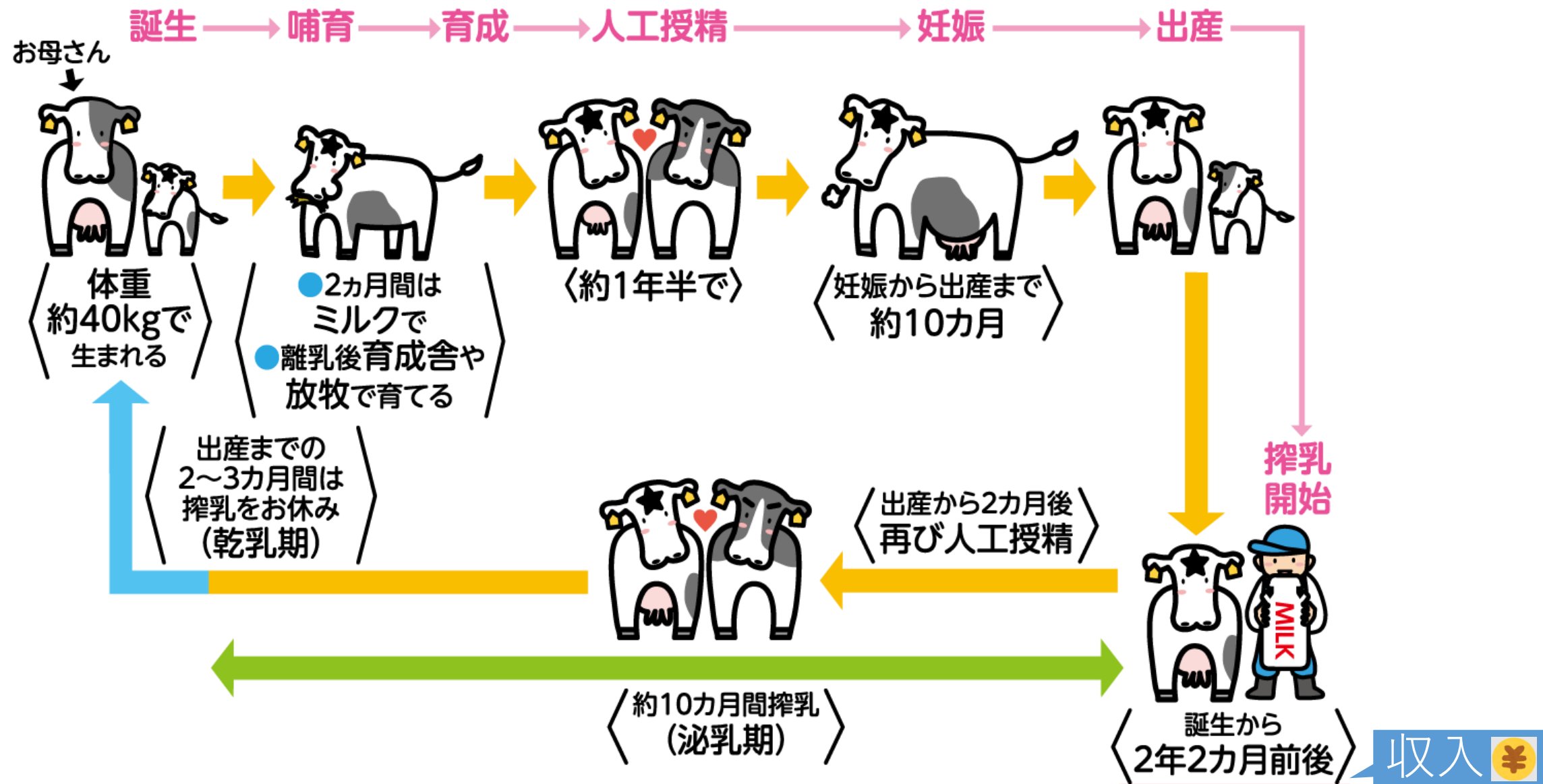
資金名	用途	貸付 利率	償還期間 (据置)	限度額	貸付対象者
農業近代化資金	施設・機械取得等	3.00%	15(7)	個人1,800万円 法人 2億円	認定農業者等
農業経営基盤強化資金 (スーパーL)	農地・施設・機械 取得、運転資金等	3.00%	25(10)	個人 3億円 法人 10億円	認定農業者 (※1)
農業経営改善促進資金 (スーパーS)	短期運転資金	2.15%	5(－)	個人 500万円 法人2,000万円	認定農業者
農業改良資金	新分野へのチャレ ンジ資金	無利子	12(5)	個人5,000万円 法人 1.5億円	認定農業者
青年等就農資金	就農に必要な施 設・機械取得、資 材費等	無利子	17(5)	個人・法人 3,700万円	認定新規就農者 (※2)

※1 認定農業者：市町村から農業経営改善計画の認定を受けた個人・法人

※2 認定新規就農者：市町村から青年等就農計画の認定を受けた個人・法人

(参考資料)
家畜の経営サイクル

乳用牛の経営サイクル



肉用牛の経営サイクル(繁殖・肥育・一貫)

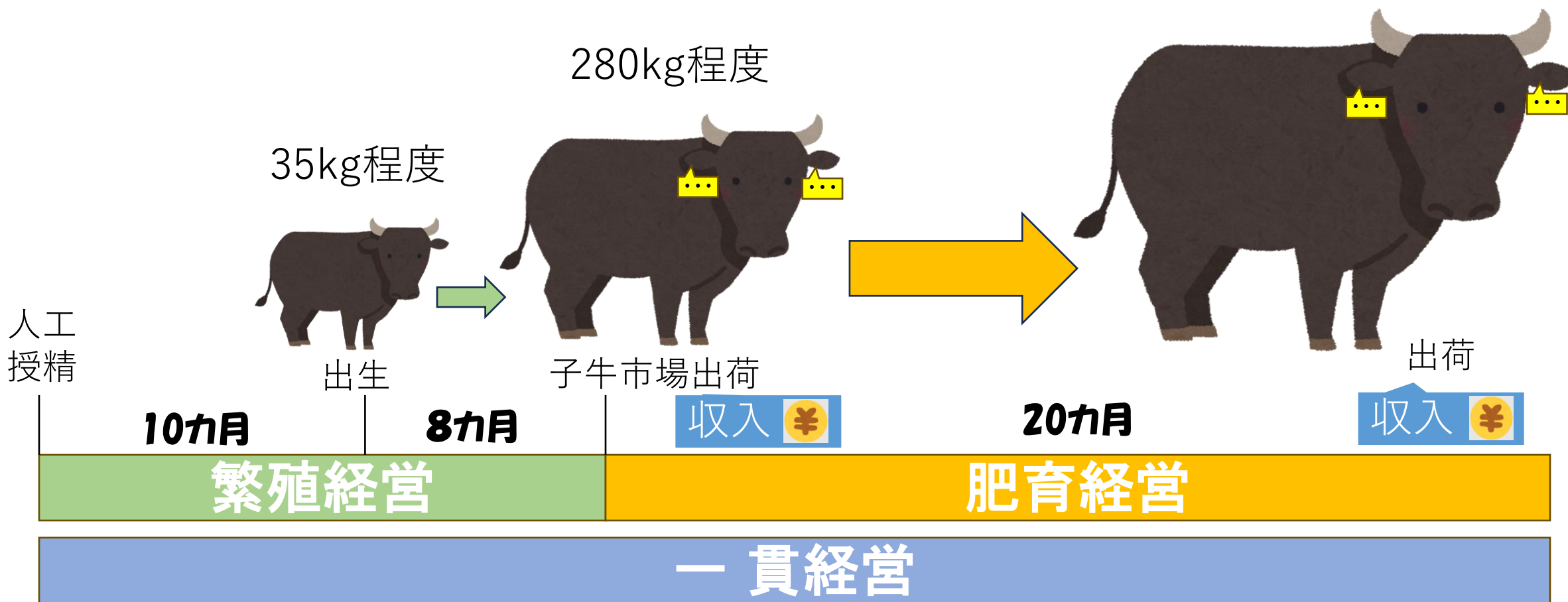
母牛

年1回分娩

子牛

肉用牛

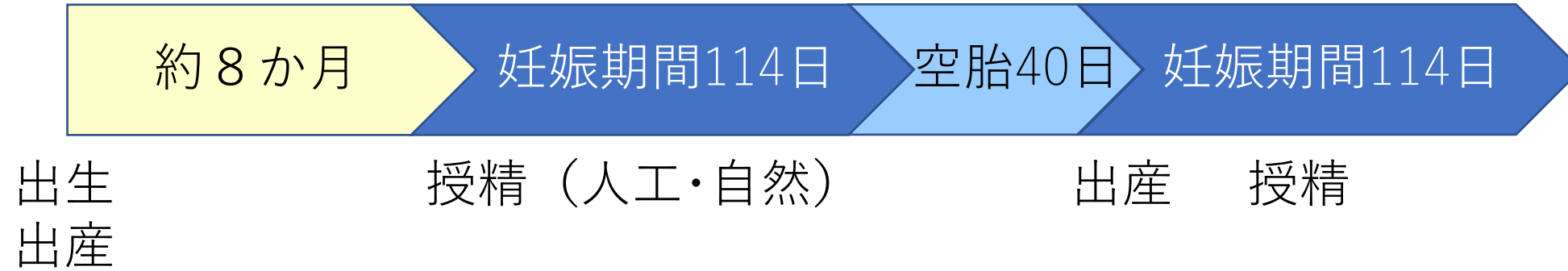
760kg程度



出典：農林水産省HP(一部改)

養豚の経営サイクル(繁殖・肥育)

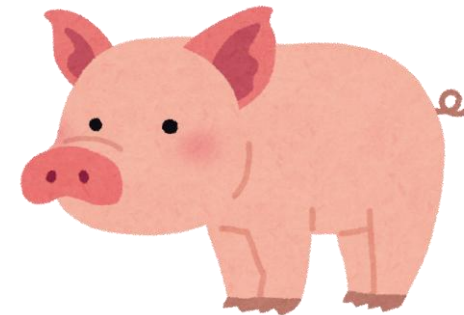
○繁殖豚



<主な特徴>

- ・ 出産は 1 回に約10頭
- ・ 1 年間に約2.2回の出産
- ・ 年間の離乳頭数は約22頭

○肥育豚



<主な特徴>

- ・ 国内流通の多くの豚肉は三元豚（3品種の掛け合わせ）
- ※「黒豚」はバークシャー種

養鶏の経営サイクル(鶏卵・鶏肉)

○採卵鶏（レイヤー）

約5か月

産卵期間約13か月



白色レグホーン
(白玉)



ロードアイランドレッド
(赤玉)



出生

産卵開始

収入

廃鶏出荷

<主な特徴>

- ・産卵率は約90% ・鶏卵重量約62g(M玉サイズ) ・国内鶏卵自給率約96%

○肉用鶏（ブロイラー）

肥育期間46日



出生

出荷[約3kg]

収入

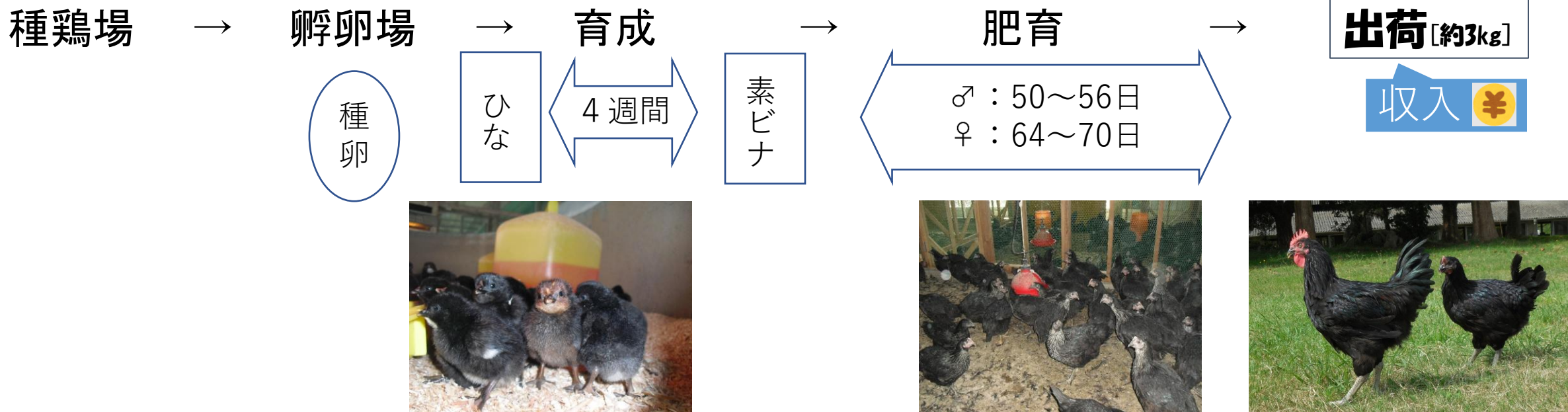
<主な特徴>

- ・一般に流通している鶏肉はブロイラー（他には銘柄鶏、地鶏）
- ・地鶏は飼育期間75日以上、在来種由来血液量50%以上等の基準あり

養鶏の経営サイクル(地鶏)

「長州黒かしわ」の場合

生育期間 ♂約84日（12週齢）、♀約98日（14週齢）



… 食鶏処理場・加工場 → 取扱店

鶏肉

